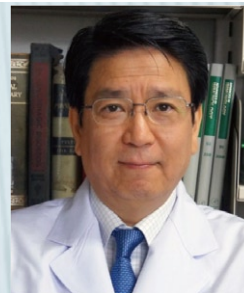


# 小児科

## I. 小児科とは？

小児科は将来を担う子どもたちを健やかに育むための総合診療科です。小児科医は、家族を守り社会をみつめる幅広い視野を持ち、最先端の知識と技術に基づいて診療を行います。成長と発達を見守る喜びを感じながら、その責任を担う分野です。新生児・心臓・血液腫瘍・神経精神・アレルギー・内分泌・腎臓、そして遺伝病など専門性の高い医療だけでなく、感染症をはじめとしたcommon diseaseに対してプライマリ・ケアを実践します。さらに、地域の小児および学校保健の担い手として、育児相談・乳幼児健診・予防接種などを行い、病気だけでなく「不慮の事故」から子どもを守ることも小児科医の大切な仕事です。



大賀正一 教授

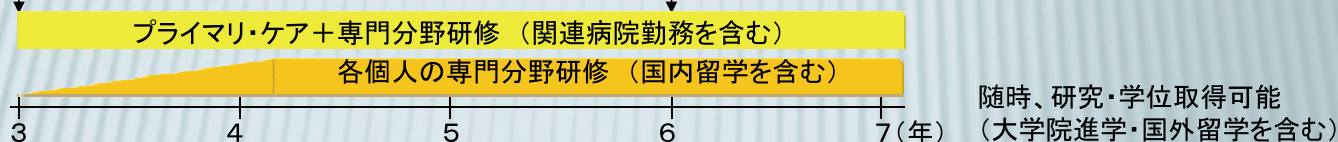
## II. 研修目標

「症例」ではなく「患児」を経験しながら、専攻医の熱意と興味を引き出す実践的な指導を心掛けています。

研修の初期目標は「乳幼児健診や予防接種などを含めた小児プライマリ・ケアの習得」です。小児救急医の資格であるPALSプロバイダーにおいても、重症児の評価や治療アプローチを体系的に行うことが重視されています。常に広く深く基礎疾患を念頭に診療します。採血・血管確保・腰椎穿刺などの処置、エコー・透視などの検査や児の年齢ごとの特徴の理解など小児患児の診療に必要な知識と技術の習得をめざします。同時に専門分野（血液腫瘍・神経・循環器・腎臓・アレルギー・新生児など）の研修を幅広く行いながら、将来自分が進む専門分野を決めていただきます。

専門医研修開始

小児科専門医受験資格



## III. 主な関連病院

県立総合医療センター・済生会下関病院・徳山中央病院・鼓ヶ浦こども医療福祉センター・下関市立市民病院  
山口宇部医療センター・小郡第一病院・周東総合病院・長門総合病院・萩市民病院・山口労災病院・岩国医師会病院  
宇部興産中央病院・関門医療センター・光市立病院など

～取得をめざす専門医資格一覧～

要件を満たせば、当科とその関連施設で研修を行い以下の認定医・専門医受験資格を得ることができます。

- ・ 日本小児科学会専門医
- ・ 日本アレルギー学会専門医
- ・ 日本小児神経学会専門医
- ・ 日本てんかん学会専門医
- ・ 日本周産期・新生児医学会周産期専門医 など

## <入局募集>

当医局の方針として、「考える」「疑問を持つ」「調べる」を意識し経験だけでなく、エビデンスに基づいた論理的なリサーチマインドを育む診療と研究を行います。入局者には、小児科専門医取得は当然ながら、各専門分野専門医取得・大学院・学位取得・国内留学・国外留学など色々なオプションを用意し、専門性の高い小児科医に育てることを約束します。

また、小児科の女性医師は、こどもの治療に重要な役割を持つ母親に共感できる存在として大きく期待されています。日本小児科医会では女性医師の占める割合は30～40%と高率で、当科でも同様の傾向です。女性医師が家庭・育児を維持しながら、かつ小児科医として生涯活躍できるよう全面的に支援し協力しています。



後期研修相談窓口 講師 松重 武志

TEL: 0836-22-2258

メールアドレス: matsu@yamaguchi-u.ac.jp

小児科HP: <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~pediat/>